



君津商工会議所 FAX通信

会員の皆様へ…会頭からのメッセージ
平成27年10月25日(日)

Vol. 314

女性会創立20周年 記念式典のあいさつから

秋元 秀夫

皆さん改めまして本日は君津商工会議所女性会創立20周年おめでとうございます。

会場には季節柄公私とも大変お忙しい折と存じますが、鈴木市長さん、浜田靖一先生、佐藤県女連会長さん、吉川元全女連会長さん、そして県議会の川名先生、石井先生を始めと致しまして、県内外から関係の方々、会員皆様がお祝いにご出席を賜り、このように素晴らしい記念式典とさせて頂き、女性会20年間の苦勞が報われたとの思いであり、私共と致しましても誠にありがたく、心より厚く御礼を申し上げる次第であります。

御承知のとおり、ちょうど今から20年前はバブル景気が破れて、今まで経験も無かったデフレ不況という困難な時代でありましたが、幸いにも初代吉田尚子会長さん以来、緒形登美子さん、谷光代さん、永島貴子さん、宮崎たかさん、そして現会長の坂本禮子さん等歴代の会長さん方はそれぞれ豊かな人格、才能を持たれた会長さん方に恵まれ、また会員の皆様方も良くご理解・ご協力を下さり、会議所の目的であります小さいものが集まり、互いに智恵と出逢い、助け合い、分かち合って共に生きて行く精進努力を尽くして下さい、今日の事業内容、会員数共に全国に類例の無い女性会として大きく成長して下さいました。

平成24年の全国商工会議所女性会連合会

会長賞を頂いた事が何よりの証明であります。

私達を取り巻く日本経済はアベノミクスによるグローバルな経済は原発停止によって、1日あたり100億円のエネルギーを輸入するために貿易赤字はまた4200億円の赤字を生んでおりますが、経常収支は8兆2000億円の黒字であり、まずまず一安心であります。私共との関係は深いローカル、中小企業経済はまだまだであり、皆様が実感されておられる通りであります。これからは商工会議所と言う組織を活用して、政治、行政と共に地方創生を身近なものとして実現させなければなりません。しかし基本は経済に直接かかわる私達一人一人の努力であり、夢と希望を次の世代へと継承する役目であります。

先程開会の時、皆さんが声を揃えて謳われた様に、これからも「理想は高く、心豊かに逞しく」そして私が一つ是非加えて頂きたいことは「常に心優しく」です。荒廃する現世の中で、女性だけが持つ感性と誇りを大切にされ、後から続く者達のためにお力を貸して頂きたいと存じます。

財政が年金・医療・介護等はまだまだ厳しく、経済界も難しさを増すと存じますが、その経済界の支え、多くの市民に愛され、頼りにされる女性会として、お元気で、健康には充分気を付けられて一層のご活躍をご期待と祈念を致しお祝いの御挨拶とさせて頂きます。

終わりにになりましたが今一度会場の方々の皆様方に重ねて感謝を申し上げ、この後市長共々皆様方を歓迎申し上げますので、今日は君津でごゆっくりお過ごし下さり、またの御出でをお待ち申し上げます。

ありがとうございました。

※女性会創立20周年記念式典は10月8日(木)に実施されました。